

## 第5回 勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会要旨

日時 18年11月30日 午後7時から9時

場所 教育会館

事務局より今までの経過報告のあと、検討委員会のまとめの内容について検討する。

次のような意見が出る。

- ・市内に小学校を3校、中学校を2校とする案は、望ましい形であるが、今すぐに統廃合を進められる状況でない。
- ・学校の配置について、望ましい形と言うのはあるが、現実には困難をかかえながらやっている。子供の人数が何人になった時、統合するかを検討したい。
- ・一定数を切った時、当該校区で統廃合を検討するとした場合、一定数とは何人を指すのかははっきりしない。  
(事務局・・・一定数 小学校は20名程度(1学年3名ほど)、中学校は学年2クラス)
- ・人数を記すと、人数の意味の取り方が違う。  
その人数になっていないから統廃合をしない。その人数になっているからするということになる。
- ・検討委員会で一定の結論を出さないと、検討委員会を設置した意味がない。ある一定の線はだす必要があるのではないか。20人前後でも良い。
- ・人数を示すと、その人数になるまで統合できないので、人数を示さず親の半分が統合を望んでいるように早くして欲しい。
- ・人数を示し、地域の考え方によって変動もありうると書くとどうか。
- ・「一定の人数」の表現は、事務局において、再度検討することになる。
- ・中学校の望ましい形は、1学年4クラス以上と考える。
- ・中学校の統廃合は、1学年2学級を続けて切る時が考えられる。
- ・学校統廃合は、基準と理想を整理して表わしたい。
- ・報告書(とりまとめ)は、だれにだすのか。  
(事務局・・・山教育長が検討委員会の報告書として受け取ります。)

本日の意見を基に、最終報告(案)を事務局で作成することとなる。